

第 64 回東北環境設備研究会

(兼 空気調和・衛生工学会 東北支部 学術・技術報告会 市民向け講演会)

厳冬季の大規模災害と長期間の停電等による避難所の LCP 対策

2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震に伴うブラックアウト、同年同月の台風 21 号や 19 年 9 月の台風 15 号による千葉県内での大規模・長期間停電のように、近年、自然災害による大規模停電が相次いで生じています。代表的な自然災害である地震だけを見ても、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以前の過去 100 年間に、宮城県内においてマグニチュード 7.0 以上が 7 回、戸建て住宅で中央式給湯設備を含む建築設備が発展した 1970 年代以降の半世紀だけで、5 回も起きています。

厳冬季に大規模災害が発生して長期間の停電が発生した状況において、避難所の運営は大きな課題になります。そこで厳冬季の大規模災害と長期間の停電等による避難所の LCP 対策に取り組んでこられた、北海道大学の森太郎准教授からご講演を頂きます。そして、防災と復興の観点から奥尻島、有珠山周辺地域、八重山地域などをフィールドに災害文化、災害伝承、防災教育に携わっておられる、東北大学の定池祐季助教からご講演を頂きます。

会員以外の方も受講料は無料となっております。

企業や大学、行政や団体等の災害対応のご担当者、一般の方にもお声がけいただき、ふるって参加していただくよう、お願い申し上げます。

主催 空気調和・衛生工学会東北支部、建築設備技術者協会東北支部、日本建築学会東北支部環境工学部会

日時 令和 2 年 3 月 10 日 (火) 15 時 30 分～16 時 30 分 (予定)

会場 東北工業大学 八木山キャンパス

プログラム 司会 : 赤井 仁志 (福島大学 特任教授)

災害時の避難所の LCP 対策 / 森 太郎 (北海道大学大学院 准教授)

防災教育と避難所運営 / 定池 祐季 (東北大学 災害科学国際研究所 助教)

質疑応答

参加費 無料

定員 100 名